

県立高校改革について

神奈川県教育委員会では、「生徒の学びと成長にとって何が必要かという視点を最優先にする」という基本的な考え方に立って、すべての県立高校で改革に取り組んでいます。

改革の具体的な計画として策定した「県立高校改革実施計画(全体)」では、計画期間を、平成28年度から令和9年度までの12年間としており、計画期間の全体にわたる改革内容を示すとともに、今後の展望を明らかにしています。

「県立高校改革実施計画(I期)」は平成28年度から令和元年度までの4年間を、「県立高校改革実施計画(II期)」は令和2年度から令和5年度までの4年間を、「県立高校改革実施計画(III期)」は令和6年度から令和9年度までの4年間を計画期間として、具体的に取り組む施策内容や再編・統合の対象校を示しています。

◇改革のめざす姿

めざす生徒像

県立高校に学ぶ生徒を、夢や希望、そして志をもち、学びを通じて自らの人生を切り拓き^{ひら}、生涯をたくましく生きる力や、人を思いやり、社会とかかわり貢献する力を身に付けた人に育てます。

めざす学校像

「めざす生徒像」の実現に向けて、生徒一人ひとりを大切に育む豊かな人間性と高い専門性を身に付けた教職員の育成・配置や、生徒にとって安全・安心で快適な教育環境の整備、さらには地域と連携した学校づくりなどを通じて、県民と地域に信頼され、活力ある魅力にあふれた県立高校にします。

◇改革の3つの柱

改革の柱Ⅰ 質の高い教育の充実

重点目標Ⅰ すべての生徒に自立する力・社会を生き抜く力を育成します。

- 生徒学力調査の実施
学力テストを実施し、生徒一人ひとりの学力の定着と向上を支援します。
- 教育課程研究開発校
SDGsをテーマとするなど、「総合的な探究の時間」に係る研究や「シチズンシップ教育」に係る研究などに取り組みます。
- 英語資格・検定試験の活用
英語資格・検定試験の受験を促進するための支援を実施し、生徒一人ひとりの英語力の定着と向上に取り組みます。
- 県立高校生学習活動コンソーシアムの形成・推進
様々な学習機会の提供と充実を図るため、大学・企業等と連携するコンソーシアムを拡大し、活用を促進します。

重点目標2 生徒の個性や優れた能力を伸ばす教育に取り組めます。

- 学力向上進学重点校
将来の日本や国際社会でリーダーとなる高い資質・能力を持った人材を育てます。
- 理数教育推進校
次代を担う科学技術系人材を育てます。
- グローバル教育研究推進校
国際的な視野を持ち、多様な価値観を受け入れられる力を持つグローバル人材を育てます。
- 国際バカロレア認定校
「国際バカロレア資格」(国際的な大学入学資格)が取得可能な国際バカロレアのプログラム(ディプロマ・プログラム)に取り組み、グローバル人材を育てます。
- 外国につながる生徒への教育機会の提供と学習支援
海外から帰国した生徒や日本語を母語としない生徒のための特別募集実施校を増やします。
日本語を母語としない生徒の日本語指導など、学校への適応に向けた生活面での支援も実施します。

重点目標3 共生社会づくりに向けたインクルーシブ教育を推進します。

- 様々な課題を抱える生徒に対する支援体制の充実
生徒が抱える悩みや置かれている環境など、様々な課題に対応するため、支援体制の充実を図ります。

- インクルーシブ教育実践推進校
知的障がいのある生徒が高校教育を受ける機会を広げます。
- 通級指導導入校
発達障がい(学習障がい等)等、主たる障がい知知的障がい以外の生徒が、通級による指導を受けることができるようにします。

改革の柱2 学校経営力の向上

重点目標4 学校の教育目標の着実な達成をめざす学校経営に取り組みます。

- スクール・ポリシーに基づく教育活動の推進
スクール・ポリシーを策定・公表し、これに基づく教育活動を推進します。
- 県立高校の情報発信
ホームページや説明会などを活用して、県立高校の魅力や県立高校改革について情報発信します。

重点目標5 地域の新たなコミュニティの核となる学校づくりを進めます。

- 神奈川らしいコミュニティ・スクールの導入・推進
すべての県立高校で、地域住民や保護者とともに、地域に開かれ、地域とともにある学校づくりに取り組みます。

重点目標6 生徒が安全・安心で快適に学べる教育環境の提供に取り組みます。

- 実験・実習等にかかる環境整備の推進
理科の実験・実習や芸術・体育・家庭などの実技、専門教育のための設備・備品の計画的整備を進めます。
- 耐震化・老朽化対策の更なる推進
県立高校の耐震化と老朽化対策を進めます。
- トイレ環境の改善
トイレの洋式化をはじめ、現代の生活様式等を踏まえた環境の改善に取り組みます。

改革の柱3 再編・統合等の取組み

重点目標7 少子化社会における適正な規模等に基づく県立高校の再編・統合に取り組みます。

- 学校規模の適正化
現在の学校規模以上とすることを基本に、地域性やそれぞれの学校の実態に応じた学級数とします。
- 普通科専門コースの解消
すべて解消し、これまでの成果を学校全体の特色とし、または専門学科へ改編しました。
- 専門学科の改編
多様な進路希望に対応するため、学科の改編等に取り組みます。
- 総合学科の改編
総合学科の地域バランス等を踏まえ、他学科へ改編し、適正配置に取り組みます。
- 再編・統合
2つの高校が1つになり、新しい高校としてスタートします。
- クリエイティブスクールの設置
中学校までに持てる力を十分に発揮しきれなかった生徒を積極的に受け入れます。

県のホームページもご覧ください。

「県立高校改革基本計画」

https://www.pref.kanagawa.jp/documents/8302/1218148_4405866_misc.pdf

「県立高校改革実施計画(全体)」

https://www.pref.kanagawa.jp/documents/8302/1218148_4405897_misc.pdf

「県立高校改革実施計画(Ⅰ期)」

https://www.pref.kanagawa.jp/documents/8302/1218148_4405898_misc.pdf

「県立高校改革実施計画(Ⅱ期)」

<https://www.pref.kanagawa.jp/documents/8302/jissikeikaku-2ki.pdf>

「県立高校改革実施計画(Ⅲ期)」

<https://www.pref.kanagawa.jp/documents/8302/jissikeikaku-3ki.pdf>

「県立高校改革実施計画」の指定校等の取組み

◇15の項目について、それぞれ指定校等での取組みを実施します。

表中の※等については「指定校一覧」の後に記載があります。

項目		内容
1	教育課程研究開発校 「シチズンシップ教育に係る研究」	より良い社会の実現に向け、生徒一人ひとりが主体的に生きる上で必要な能力と態度を養うための指導計画や教材等の研究開発に取り組めます。
	指定校：城郷、横浜瀬谷、藤沢総合、小田原東、相模田名、厚木王子	
2	教育課程研究開発校 「学習評価に係る研究」	より一層効果的な学習評価の在り方や、教員が学習指導の改善を図り、生徒が自己の振り返りをとおして次の学びに向かえるような学習評価の在り方についての研究に取り組めます。
	指定校：新城、松陽、逗子葉山、平塚農商、上溝	
3	教育課程研究開発校 「『総合的な探究の時間』に係る研究」	自ら課題を発見し解決する探究の学びについての研究に取り組めます。いくつかの指定校*ではSDGsをテーマとした展開についての研究に取り組めます。
	指定校：市ヶ尾、横浜清陵、藤沢西、秦野総合、大和、津久井 *：川崎、舞岡、大船、山北、有馬	
4	授業力向上推進重点校	生徒一人ひとりの学力の定着と向上を図るため、先進的な指導方法を取り入れた授業づくりに取り組み、県立高校全体の授業の改善をめざします。
	指定校：元石川、横浜立野、追浜、秦野曾屋、上溝南	
5	ICT利活用授業研究推進校	タブレット端末等のICT機器を活用し、課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習に取り組めます。
	指定校：生田東、横浜南陵、藤沢工科、伊勢原、神奈川総合産業	
6	プログラミング教育研究推進校	コンピュータを活用したプログラミングの学習をとおして、論理的な思考力や課題解決力を育てる研究に取り組めます。
	指定校：住吉、横浜栄、茅ヶ崎西浜、西湘、相模原城山	
7	確かな学力育成推進校	課題解決に向けて、主体的に判断、行動する資質・能力の育成と学習意欲向上のため、学び直しの学習と少人数指導に積極的に取り組みます。
	指定校：菅、永谷 ^{※1} 、寒川、平塚湘風、愛川	
8	学力向上進学重点校	将来の日本や国際社会でリーダーとして活躍できる資質・能力を持った人材を育てるため、生徒一人ひとりの高い学力と豊かな人間性や社会性の習得に取り組めます。
	指定校：横浜翠嵐、川和、柏陽、横浜緑ヶ丘 ^{※2} 、多摩 ^{※2} 、湘南、小田原 ^{※2} 、厚木 ^{※2} エントリー校：希望ヶ丘 ^{※2} 、横浜平沼、光陵、横浜国際、横須賀 ^{※2} 、鎌倉 ^{※2} 、茅ヶ崎北陵、平塚江南 ^{※2} 、大和、相模原 ^{※2}	

項目		内容
9	STEAM教育研究推進校	各教科での学習を実社会での問題発見・解決にいかしていくための、教科等横断的な教育課程や指導方法、学習プログラム等の研究開発に取り組みます。
	指定校:神奈川工業、光陵、横須賀 ^{※2} 、秦野、相模原弥栄	
10	理数教育推進校	科学技術・理数に関する興味・関心を高め、将来国際的にも活躍できる科学技術系人材の育成を図るため、生徒による実践的な科学研究を行い、その成果の普及に取り組みます。
	指定校:生田、鎌倉	
11	グローバル教育研究推進校	英語によるコミュニケーション能力を高め、国際的な視野を持ち、多様な価値観を受容できる力の育成に取り組みます。
	指定校:神奈川総合、横浜氷取沢、鶴嶺、大磯、大和西	
12	国際バカロレア認定校	「国際バカロレア資格」(国際的に認められている大学入学資格)が取得可能な国際バカロレアのプログラム(ディプロマ・プログラム)を展開し、グローバル人材の育成に取り組みます。
	指定校:横浜国際	
13	インクルーシブ教育実践推進校	共生社会の実現をめざし、知的障がいのある生徒が高校教育を受ける機会を広げながら、すべての生徒が共に学び相互に理解を深める教育に取り組みます。
	指定校:城郷、霧が丘、白山、川崎北、菅、保土ケ谷、上矢部、横浜南陵、津久井浜、湘南台、茅ヶ崎、二宮、伊勢原、足柄、厚木西、綾瀬、上鶴間、橋本	
14	通級指導導入校	高校に進学する生徒の多様な教育的ニーズに対応するため、発達障がい等のある生徒が、通常の学級とともに学びながら、必要に応じて別の教室で障がいに応じた特別の指導(自立活動)を受ける「通級による指導」に取り組みます。
	指定校:生田東、横浜修悠館 ^{※3} 、保土ケ谷 ^{※4} 、高浜、綾瀬西	
15	コミュニティ・スクール	地域住民や保護者等と協働して、より良い教育を実現するため、地域に開かれ、地域とともにある学校づくりにすべての県立高校で取り組みます。
	指定校:すべての県立高校	

※2 「スーパーサイエンスハイスクール(SSH)」指定校です。

SSHとは、生徒の科学的能力及び技能並びに科学的思考力、判断力及び表現力を培い、将来国際的に活躍し得る科学技術人材等の育成を図ることを目的に、文部科学省から指定を受けて研究開発を行っている学校です。

◇指定校等一覧

校名は令和7年4月現在のものです。

項目	地 域				
	横浜北東・川崎	横浜南西	横須賀三浦・湘南	中・県西	県央・相模原
1	城郷	横浜瀬谷	藤沢総合	小田原東	相模田名 厚木王子
2	新城	松陽	逗子葉山	平塚農商	上溝
3	市ヶ尾	横浜清陵	藤沢西	秦野総合	大和 津久井
*	川崎	舞岡	大船	山北	有馬
4	元石川	横浜立野	追浜	秦野曾屋	上溝南
5	生田東	横浜南陵	藤沢工科	伊勢原	神奈川総合産業
6	住吉	横浜栄	茅ヶ崎西浜	西湘	相模原城山
7	菅	永谷※ ¹	寒川	平塚湘風	愛川
8	横浜翠嵐 川和 多摩※ ²	柏陽 横浜緑ヶ丘※ ²	湘南	小田原※ ²	厚木※ ²
**		希望ヶ丘※ ² 横浜平沼 光陵 横浜国際	横須賀※ ² 鎌倉 茅ヶ崎北陵	平塚江南※ ²	大和 相模原※ ²
9	神奈川工業	光陵	横須賀※ ²	秦野	相模原弥栄
10	生田		鎌倉※ ²		
11	神奈川総合	横浜氷取沢	鶴嶺	大磯	大和西
12	横浜国際				
13	城郷 霧が丘 白山 川崎北 菅	保土ヶ谷 上矢部 横浜南陵	津久井浜 湘南台 茅ヶ崎	二宮 伊勢原 足柄	厚木西 綾瀬 上鶴間 橋本
14	生田東	横浜修悠館※ ³ 保土ヶ谷※ ⁴		高浜	綾瀬西

* 「『総合的な探究の時間』に係る研究」のうちSDGsをテーマとした展開についての研究指定校

** 学力向上進学重点校エントリー校

※¹ 指定校としての取組みは令和8年度までとし、その成果を再編・統合後の新校に生かします。※² 文部科学省SSH指定校※³ 他校通級指導導入校※⁴ 令和7年度まで実施

再編・統合等の取組み

校名については、令和7年4月現在のものです。

インクルーシブ教育実践推進校の指定

◇これまでの 14 校に加え、新たに4校で、知的障がいのある生徒が高校教育を受ける機会を広げます

■ 白山高校、菅高校、保土ヶ谷高校、横浜南陵高校

	令和7年度	令和8年度	令和9年度
知的障がいのある生徒	1・2年生在籍	1～3年生在籍	

※特別募集以外の入学者選抜は、これまでどおり行います。

専門学科の改編

◇看護科を普通科に改編しました

基礎学力の向上をめざすとともに、看護・医療分野への進路意識を高める教育を行います

■ 二俣川高校

	令和7年度	令和8年度	令和9年度
看護科	2・3年生在籍	3年生在籍	
普通科	1年生在籍	1・2年生在籍	1～3年生在籍
福祉科	1～3年生在籍		

再編・統合

◇2つの高校が1つになり、新しい高校としてスタートします

※新しい高校のスタート時に、再編・統合対象校に在籍している生徒は、新しい高校に在籍変更します（麻生総合高校を除く）

■ 田奈高校・麻生総合高校【令和8年度開校】

総合学科クリエイティブスクールに改編し、きめ細かな生徒支援と将来の就職等に向けた職業指導など、幅広い学びの実現を図ります。

※田奈高校の敷地・施設を活用

	令和7年度	令和8年度	令和9年度
田奈高校	普通科(クリエイティブスクール) 1～3年生在籍 令和8年度生徒募集は、普通科では行わず、総合学科で行います	新しい高校としてスタートします！ 普通科2・3年生在籍 総合学科1年次生在籍 (クリエイティブスクール)	
麻生総合高校	総合学科 1～3年次生在籍 令和8年度生徒募集は行いません	総合学科 2・3年次生在籍	総合学科 3年次生在籍

■ 旭高校・横浜旭陵高校【令和9年度開校】

幅広い地域資源を活用した様々な連携事業の実施が可能となり、これまで以上に密接な地域連携活動を展開します。

※旭高校の敷地・施設を活用

	令和7年度	令和8年度	令和9年度
旭高校	普通科1～3年生在籍		新しい高校として スタートします！ 普通科 1～3年生在籍
横浜旭陵高校	単位制普通科 2・3年次生在籍	単位制普通科 3年次生在籍	

■ 横浜桜陽高校・永谷高校【令和9年度開校】

基礎からしっかり学ぶことで進学や就職に向けた確かな学力を育成し、生徒一人ひとりの将来について自覚を深めていける教育課程を編成します。

※横浜桜陽高校の敷地・施設を活用

	令和7年度	令和8年度	令和9年度
横浜桜陽高校	単位制普通科1～3年次生在籍		新しい高校として スタートします！ 単位制普通科 1～3年次生在籍
永谷高校	普通科 2・3年生在籍	普通科 3年生在籍	

■ 藤沢清流高校・深沢高校【令和9年度開校】

両校が実践してきたリーダーシップ教育の取組みを継続することで、社会で活躍できる人材の育成をめざします。

※藤沢清流高校の敷地・施設を活用

	令和7年度	令和8年度	令和9年度
藤沢清流高校	単位制普通科1～3年次生在籍		新しい高校として スタートします！ 単位制普通科 1～3年次生在籍
深沢高校	普通科 2・3年生在籍	普通科 3年生在籍	

■ 小田原城北工業高校・大井高校【令和8年度開校】

普通科と工業科を併置し、進学や就職に向けた学力の向上と、技能を身につけることや資格取得を目指すことなど、幅広い学びの実現をめざします。

※小田原城北工業高校の敷地・施設を活用

	令和7年度	令和8年度	令和9年度
小田原城北工業高校	工業科1～3年生 在籍	新しい高校としてスタートします！ 普通科(クリエイティブスクール)1～3年生 工業科1～3年生在籍	
大井高校	普通科(クリエイティブ スクール) 1～3年生在籍		

定時制課程の募集停止

- 横浜翠嵐高校(定時)、向の岡工業高校(定時)、磯子工業高校(定時)、茅ヶ崎高校(定時)、秦野総合高校(定時)、伊勢原高校(定時)

	令和7年度	令和8年度	令和9年度
定時制課程	1～4年(次)生在籍 令和8年度生徒 募集は行いません	2～4年(次)生在籍	3・4年(次)生 在籍

定時制課程の学科改編

◇学年制から単位制に改編し、新たに単位制普通科を設置します

- 神奈川工業高校(定時)

	令和7年度	令和8年度	令和9年度
学年制工業科	1～4年生在籍 令和8年度生徒 募集は行いません	2～4年生在籍	3・4年生在籍
単位制工業科	令和8年度生徒募集を 行います	1年次生在籍	1・2年次生在籍
単位制普通科	令和8年度生徒募集を 行います	1年次生在籍	1・2年次生在籍

◇総合学科を単位制普通科に改編します

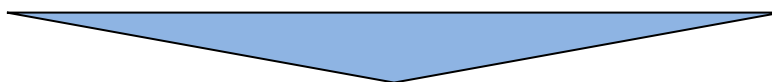
- 神奈川総合産業高校(定時)

	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合学科	1～4年生在籍 令和8年度生徒 募集は行いません	2～4年次生 在籍	3・4年次生在籍
単位制普通科	令和8年度生徒募集を 行います	1年次生在籍	1・2年次生在籍

課程・学科等の改編

県立高校改革実施計画Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ期（平成28年度～令和9年度）に実施する課程・学科等の改編

平成28年3月（校名は当時のもの）	
クリエイティブスクール	田奈高校・釜利谷高校・大楠高校
フレキシブルスクール	川崎高校（全日制・定時制）・厚木清南高校（全日制・定時制・通信制）・ 横浜桜陽高校（全日制）
普通科専門コース	荏田高校・生田高校・横浜南陵高校・磯子高校・高浜高校・西湘高校・山北高校・ 有馬高校・綾瀬西高校・白山高校・上矢部高校・厚木北高校
総合学科	鶴見総合高校・麻生総合高校・金沢総合高校・藤沢総合高校・ 秦野総合高校（全日制・定時制）・座間総合高校・相模原総合高校・ 向の岡工業高校（定時制）・磯子工業高校（定時制）・平塚商業高校（定時制）・ 神奈川総合産業高校（定時制）・大師高校・横浜緑園総合高校・横浜清陵総合高校・ 吉田島総合高校
単位制普通科	横浜旭陵高校・横浜栄高校・三浦臨海高校・藤沢清流高校・平塚湘風高校・ 小田原高校（全日制・定時制）・相模原青陵高校・湘南高校（定時制）
普通科と専門学科の併置	津久井高校



県立高校改革実施計画Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ期	
クリエイティブスクール	<u>田奈高校</u> ・ <u>麻生総合高校</u> ・ <u>横須賀南高校</u> ・ <u>小田原城北工業高校</u> ・ <u>大井高校</u> ・ <u>大和東高校</u> ・ 釜利谷高校
フレキシブルスクール	川崎高校（全日制・定時制）・厚木清南高校（全日制・定時制・通信制）
総合学科	<u>田奈高校</u> ・ <u>麻生総合高校</u> ・鶴見総合高校・金沢総合高校・藤沢総合高校・秦野総合高校・ 座間総合高校
単位制普通科	大師高校・横浜緑園高校・ <u>横浜桜陽高校</u> ・ <u>永谷高校</u> ・横浜清陵高校・ <u>藤沢清流高校</u> ・ <u>深沢高校</u> ・ <u>三浦初声高校</u> ・ <u>相模原弥栄高校</u> ・ <u>相模原城山高校</u> ・横浜栄高校・ 平塚湘風高校・小田原高校（全日制・定時制）・ <u>神奈川工業高校（定時制）</u> ・ <u>高浜高校（定時制）</u> ・ <u>神奈川総合産業高校（定時制）</u> ・湘南高校（定時制）
普通科と専門学科の併置	神奈川総合高校・白山高校・ <u>二俣川高校</u> ・上矢部高校・横須賀南高校・ <u>三浦初声高校</u> ・ <u>小田原東高校</u> ・ <u>小田原城北工業高校</u> ・ <u>大井高校</u> ・ <u>厚木王子高校</u> ・ <u>厚木北高校</u> ・ <u>相模原弥栄高校</u> ・津久井高校・ <u>神奈川工業高校（定時制）</u>

※1 下線はⅠ期計画（平成28年度～令和元年度）及びⅡ期計画（令和2年度～令和5年度）における対象校、二重下線はⅢ期計画（令和6年度～令和9年度）における対象校です。

※2 は再編・統合の対象校です。

※3 校名は、令和7年4月1日現在のものです。

※4 単位制普通科のうち、神奈川総合高校及びフレキシブルスクールの記載は除いています。

※5 吉田島総合高校は、総合学科を専門学科に改編し、吉田島高校に校名変更しました。

※6 横浜旭陵高校は旭高校と再編・統合し、学年制普通科になります。

※7 募集停止する定時制課程の記載は除いています。